

第7号様式（京都府地球温暖化対策条例施行規則第23条関係）

第1号様式（京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例施行規則第3条関係）

特定建築物排出量削減計画書 兼 特定建築物再生可能エネルギー導入計画書

(宛先) 京都府知事	令和 / 年 6 月 7 日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 茨城県ひたちなか市稲田 1410 番地	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） ピークルエナジージャパン株式会社 代表取締役 社長執行役員 岩崎 明郎

工 事 の 種 別		<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工 事 着 工 予 定 年 月 日		2019 年 7 月 1 日			
工 事 完 了 予 定 年 月 日		2020 年 3 月 31 日			
特定建築物 の 概 要	名 称	(仮称) ピークルエナジージャパン Fライン建屋建設工事			
	所 在 地	京都府乙訓郡大山崎町字立嶋 25			
	構 造	S 造	階 数	地上 4 階地下 階	
	敷 地 面 積	平方メートル 15,380.02	高 さ	メートル 28.35	
	建 築 面 積	平方メートル 7,159.41	床 面 積 の 合 計 (増築部分の床面積)	27,152.32 平方メートル (平方メートル)	
	用途別の床面積	住 宅	平方メートル		
		ホ テ ル 等	平方メートル		
		病 院 等	平方メートル		
		物品販売業を営む店舗等	平方メートル		
		事 務 所 等	平方メートル 2,152.35		
		学 校 等	平方メートル		
		飲 食 店 等	平方メートル		
		集 会 所 等	平方メートル		
	工 場 等	平方メートル 24,999.97			
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果		サステナビリティランキング BEE = B+ (1.2)			

第7号様式（京都府地球温暖化対策条例施行規則第23条関係）

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 ②第11条の2第1号イ該当木材等 ③第11条の2第2号該当木材等 ④第11条の2第3号該当木材等 府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)	立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル
	使用する用途		
	府内産木材等の使用基準量		立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量		立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積		平方メートル
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概	要
<input checked="" type="checkbox"/>	外壁、屋根又は床の断熱	外壁：断熱サンドイッチパネル、屋根：断熱二重折半	
<input checked="" type="checkbox"/>	窓の断熱又は日射の遮蔽	Low-E ガラス	
<input checked="" type="checkbox"/>	エネルギー消費効率の高い設備の導入	BEI=0.84	
<input checked="" type="checkbox"/>	環境への負荷が少ない材料の利用	エコマーク商品（ビニル床シート）	
<input checked="" type="checkbox"/>	節水型設備の設置	大便器、小便器	
<input type="checkbox"/>	雨水、雑排水等の利用		
<input checked="" type="checkbox"/>	耐用年数が高い材料及び設備の利用	外壁断熱サンドイッチパネル（補修必要間隔30年）	
<input checked="" type="checkbox"/>	建築物の維持管理の容易性に対する配慮	予備機設置計画による機能を維持しながらの更新が可能	
<input checked="" type="checkbox"/>	緑化の実施	緑被率	
<input type="checkbox"/>	その他		

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる資料を添付してください。

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。

第1号様式（京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例施行規則第3条関係）

再エネ設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
	①太陽光	58,173 メガジュール
	②風力	メガジュール
	③水力	メガジュール
	④地熱	メガジュール
	⑤太陽熱	メガジュール
	⑥バイオマス	メガジュール
	⑦その他（ ）	メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	58,173 メガジュール	
効率的利用設備の導入	再生可能エネルギーを効率的又は自立的に利用するための設備	概 要
	<input type="checkbox"/> 蓄電池	
	<input type="checkbox"/> エネルギーマネジメントシステム	
	<input type="checkbox"/> その他	

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、導入する再エネ設備又は効率的利用設備の内容が分かる書類を添付してください。